

新卒向け

たまふれあいグループ 募集要項

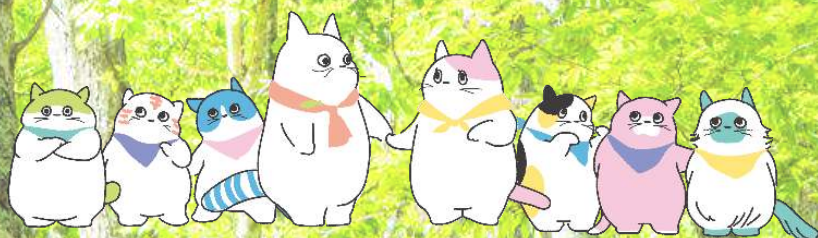


医療相談員



たまふれあいグループ

Tama Fureai Group

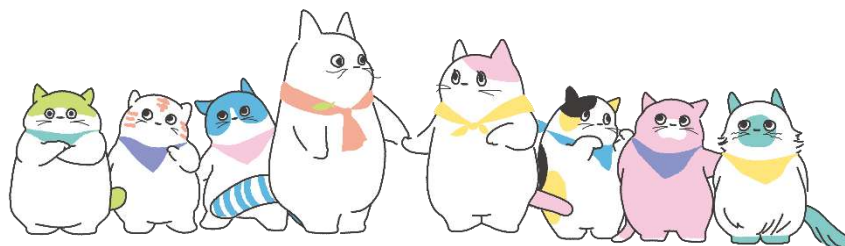


地域の人々の、
よりよい生活と人生のために
～こころとからだに、ぬくもりとやさしさを～

- 私たちの提供するヘルスケアは、地域の人々のためのものです
- 私たちの提供するヘルスケアは、人々のいまと将来に寄与します
- 私たちの提供するヘルスケアは、つねに全人的かつ人間的であり続けます
- 私たちは、誇りと働きがいを持ってヘルスケアを提供します

人々は地域で暮らし、地域の中で生きています。世の中がどれほど発達したとしても、人々の暮らしは地域の中にあります。そして、たとえどんなに科学技術が進んだとしても、ひとがひとへ伝えるぬくもりややさしさを超えることはできないと考えています。

だからこそ、私たちは地域に徹底したこだわりを持ち続けます。



たまふれあいグループ イメージキャラクター

「在宅医療」をすること



あなたはどこで最後を迎えたいですか？

最後は誰と一緒に過ごしたいですか？

政府の調査によると、約半数以上の方が住み慣れた自宅で最期を迎えたいと希望しています。

しかし、急変時の不安・医療処置の難しさ・介護負担などの様々な要因から、多くの方が病院で亡くなっているのが現状です。当院でも、「しんどそうにして見てもらえない。やっぱり入院させた方がいいのでは」と悩む声を聞いたりします。

また日本は超高齢化社会に突入し、さらに寝たきり高齢者や慢性疾患で長期療養を必要とする方・医療依存度の高い方が増えてくると考えられます。このような方々が、自分らしく最後を迎えるためにも、どのような状況にも対応出来る在宅医療の充実が必要不可欠であると言えます。



このような社会環境において当院では、医師・看護師・薬剤師・セラピスト・栄養士・ケアマネジャー・医療相談員・事務という協力連携体制のもと、

- 24時間・365 日患者様・ご家族をサポート
- 高度かつ専門的な医療を必要とする方の受け入れ
- 家族の生活に合わせた療養環境の提案・指導

を行っています。様々な疾患・年齢層・生活環境に対応し、患者様・ご家族が自分らしく、後悔のない生活が出来るよう、小さな変化でも共有し、一丸となって取り組んでいます。

私たちと一緒に「在宅医療」をしてみませんか。



理事長ご挨拶

ある日突然に、ご家族が病気になり自宅療養を余儀なくされることがあります。自宅で暮らすためには生活環境を整えることもしなければなりません。

訪問介護や訪問入浴、訪問看護、それに訪問診療、訪問薬局・・・ 医療保険に介護保険・・・
介護保険は申請して要介護度認定が・・・ 地域包括支援センターに連絡して、ケアマネが・・・
車いすも通れないような狭いおうちでどうやってバリアフリー??

患者様やご家族様にとってはあまりに多岐で複雑で理解することは容易ではありません。ましてやご高齢のご家族様では途方に暮れる方も少なくありません。

在宅医療では病院と違い必ずしも生活環境や療養環境が整っているわけではありません。ですから医療介護のみならず、生活全般のマネジメントが必要です。在宅はまさにソーシャルワークによってwell beingを目指すフィールドといって過言ではありません。

私たちたまふれあいグループの在宅医療は、病気の治療だけが目的ではありません。患者様やそのご家族様の生活と人生に関わっていくことが大切だと考えています。

地域の人々のよりよい人生と生活のために、
私たちと一緒に働きませんか！



医療法人メディカルクラスタ
理事長 鈴木 忠

地域相談室長ご挨拶

たまふれあいグループ 地域マネジメント室 地域相談室室長の亀井直樹と申します。

私は大学卒業と同時に社会福祉士、精神保健福祉士の資格を取得したのち介護福祉事業を行うNPO法人のデイサービス相談員や障害のある方の訪問介護で仕事をしてきました。利用者様の生活に係る仕事をする中で資格を生かしその方の生活により密着し総合的にサポートできる仕事をしたいと思い、地域ヘルスケアクラスターの構築を目指すこのたまふれあいグループに就職を決めました。

当グループの地域相談室のキーワードは「おっせかい」です。患者様、利用者様、法人、関係機関にとって必要なこと、必要であろうことはしっかりと説明しどんどんと提案し、実現までコーディネートします。別ページでもご説明いたしますが、当グループで相談員の仕事は多岐にわたります。患者様、ご家族、多職種の方々とは仕事することで一人の人として挑戦し、成長できます。

また医療・福祉を生業にするにはまず自分自身が健康である必要があります。
当たり前のことではありますが当法人はワークライフバランスを大事にしています。
希望休は100%通ります。有給も遠慮せずどんどんとって
いただいています。

在宅医療、福祉には正解はありません。あるとすればその人が
幸せであることです。うまくいかないことももちろんありますが、
とてもやりがいのある職場です。
ぜひ一緒に働きませんか。



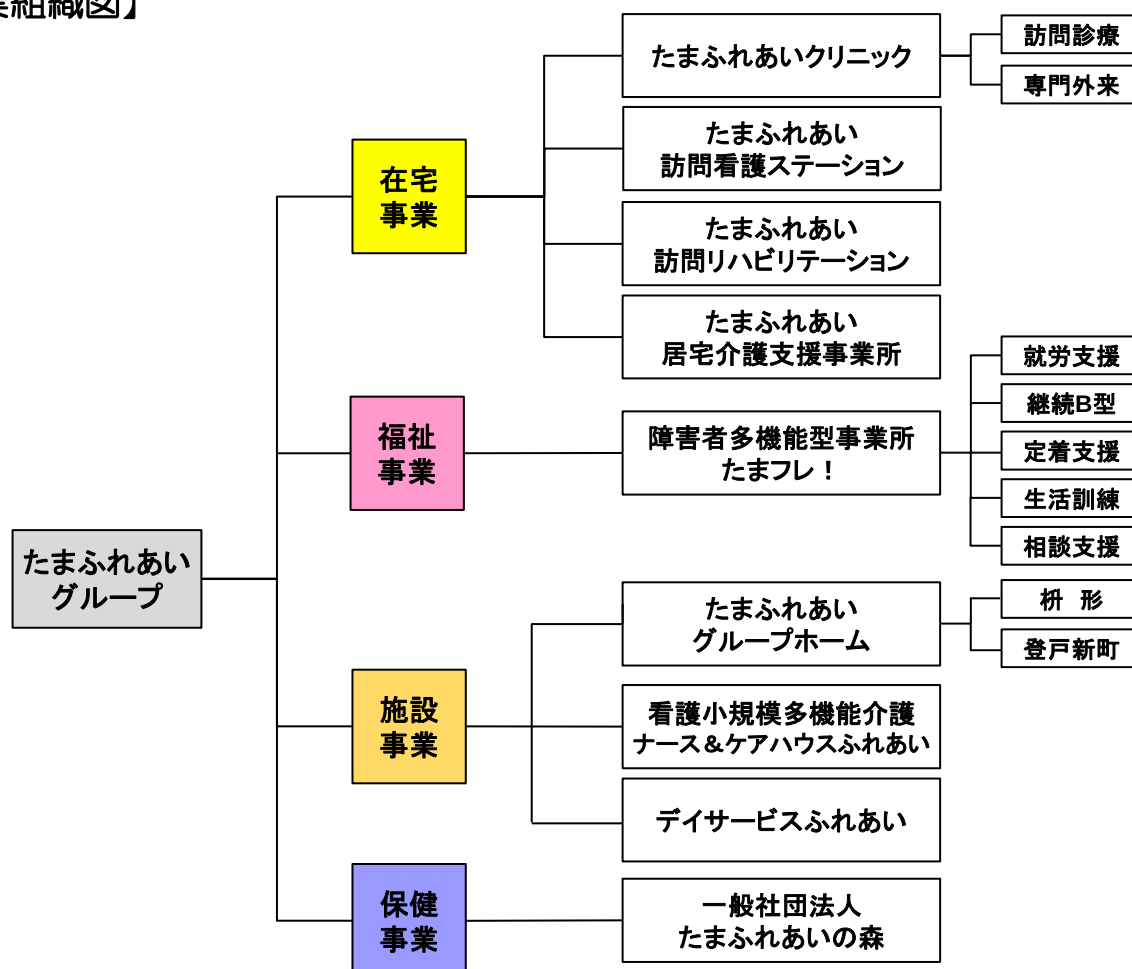
地域相談室長 亀井 直樹

グループの概要



たまふれあいグループは川崎市多摩地区を中心に 医療、介護、福祉に関わる 8事業 9事業所を展開する総合在宅グループです。グループ全体では140人以上の職員が働いています。

【事業組織図】



【事業概要】

グループ名	たまふれあいグループ	
グループ代表	鈴木 忠	
構成法人	医療法人メディカルクラスタ 株式会社保健医療基盤 一般社団法人たまふれあいの森	
資本金（出資金） 2021年9月現在	医療法人メディカルクラスタ 株式会社保健医療基盤 一般社団法人たまふれあいの森	6,898万円 800万円 200万円
創立	2012年4月1日	
従業員数（連結）	147名（2021年9月31日現在）	
年商（連結）	10億6700万円（2021年度予測）	

グループの特徴

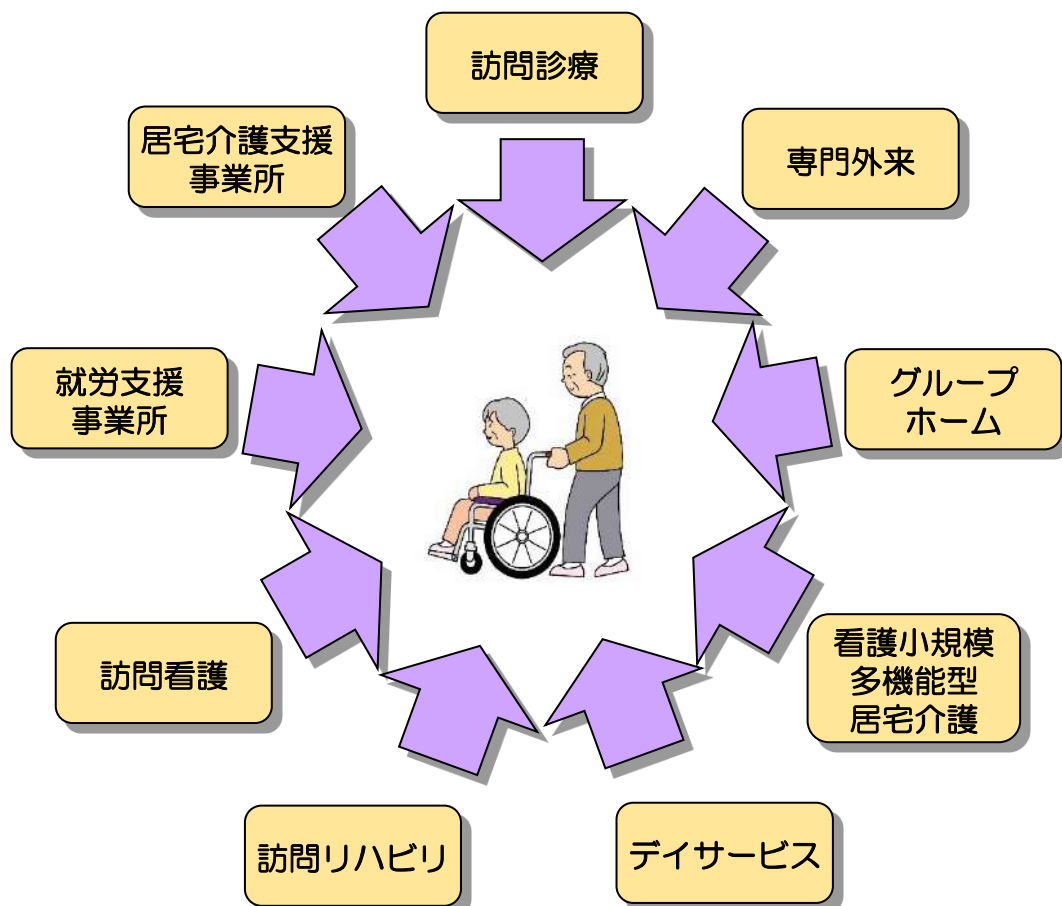


1 総合在宅グループだからこそできる多職種連携

在宅療養では、治療などの医療だけではなく生活状態などを含めた療養環境を整える必要があります。

当グループは、訪問診療や訪問看護のみならず、在宅療養にとって必要な訪問リハビリやデイサービス、グループホームなどの事業所やサービスが数多く揃っており、それぞれがしっかりと連携をとることで高いサービスの提供を目指しています。

とくに、医師や看護師、OT/PT/ST、ケアマネジャー、管理栄養士などが常勤で所属し、同じフロアですべての職種がフラットな関係で仕事をしており、日常的に多職種と気軽に患者さんの話や相談ができ、学びの多い職場です。



② ターミナルケア 在宅だからこそ看取り

ターミナルケアでは、医師・看護師・薬剤師などがチームを組んで疼痛コントロールや様々な症状の緩和を行います。さらに在宅では、療養環境を整えたり、主たる介護者であるご家族への介護・看護指導や不安を解消したりする必要もあり、訪問診療と訪問看護の両面から患者様の終末期を支えています。

当院のターミナルケアでもっとも多い疾患は悪性腫瘍ですが、慢性心不全やCOPD、老衰といった方のお看取りも行っており、昨年一年間では約150人の方のお看取りをサポートしてきました。

また、グリーフケアにも注力しています。必ずしも十分にできているわけではありませんが、お亡くなりになったのちのご訪問や、一周忌の際のお花、お手紙など、ご家族様のお気持ちに添えるようみんなで考えながら、行っています。



③ 認知症 治療と生活の両面からのアプローチ

認知症の方の在宅療養は、治療と生活環境の整備と両面からアプローチする必要があります。当院では、“コウノメソッド”と従来の治療法と織り交ぜながら患者様にもっともあった方法を提供しています。

同時に生活環境に対しては、ソーシャルワーカーは訪問診療や訪問看護、ケアマネジャー、管理栄養士、OT/PT/STなどのメンバーとチームを組んで環境改善に取り組んでいます。これもすべての職種が常勤で所属している当グループならではの対応だと自負しています。



医療相談員の業務



クリニックにおける相談業務から医療・介護・障害等の多分野にわたる多職種、他機関との地域連携、コーディネーター的な役割など活躍は多岐にわたり、当グループ全体の窓口的な立場となり、地域住民のよりよい医療や生活の提供を目指すためのキーパーソンとなります。

地域医療に関する相談業務

訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーションなどの開始に際する面談・書類の取り交わし、ご意向の確認、診療予定の作成・管理。

医療機関や介護事業所との地域連携

受診調整、入院・退院調整、サービス担当者会議・地域ケア会議等カンファレンスの出席。

コーディネーター的役割

患者様・ご利用者・ご家族はもちろん、他職種間をつなぐ業務。グループ内外問わず社会資源のご案内・活用。

情報誌やPRツールの作成

広報紙「ふれあい通信」の作成、セミナーの企画・運営。多職種や地域住民を啓蒙、啓発するためのツールの作成。

地域のケアを良くする課題を解決するための様々な活動

まちの保健室活動、地域ケアカフェへの参加・主催。地域ネットワークづくりのための活動。

先輩からひと言



藤田 杏
(2018年度新卒入社)

とにかく業務が多岐にわたるため、コミュニケーションスキルが高いことやフットワークが軽いことが重要です。
また、医師や看護師等、医療職との距離が近い職種ですので、業務に必要な医療知識は身につけることが大切です。
病院とは違った「現場感」があることが在宅の醍醐味だと思います。



医療相談員の1日



9:00 朝礼・申し送り

メールチェックをし前日の申し送りの確認を行います。1日の流れを全員で共有します。



9:30 事務処理・連絡調整

医療チーム、介護チームや各種機関との連絡調整を行います。



10:30 サービス担当者会議

ご自宅や施設に伺い、利用者様に関わる機関の全ての担当者と情報共有を行います。



12:00 休憩

リラックスタイムとして相談員のメンバー皆で食事をとることが多いです。



14:00 退院前カンファレンス

病院から退院され、ご自宅や施設に入られる利用者様に対し、安心して過ごしていただけるよう、退院後の生活について説明します。



16:00 新規契約対応

問い合わせがあったお客様と連絡のやり取りを行い、契約までの一連の作業を担当します。



18:00 退勤

今日も1日お疲れ様でした。



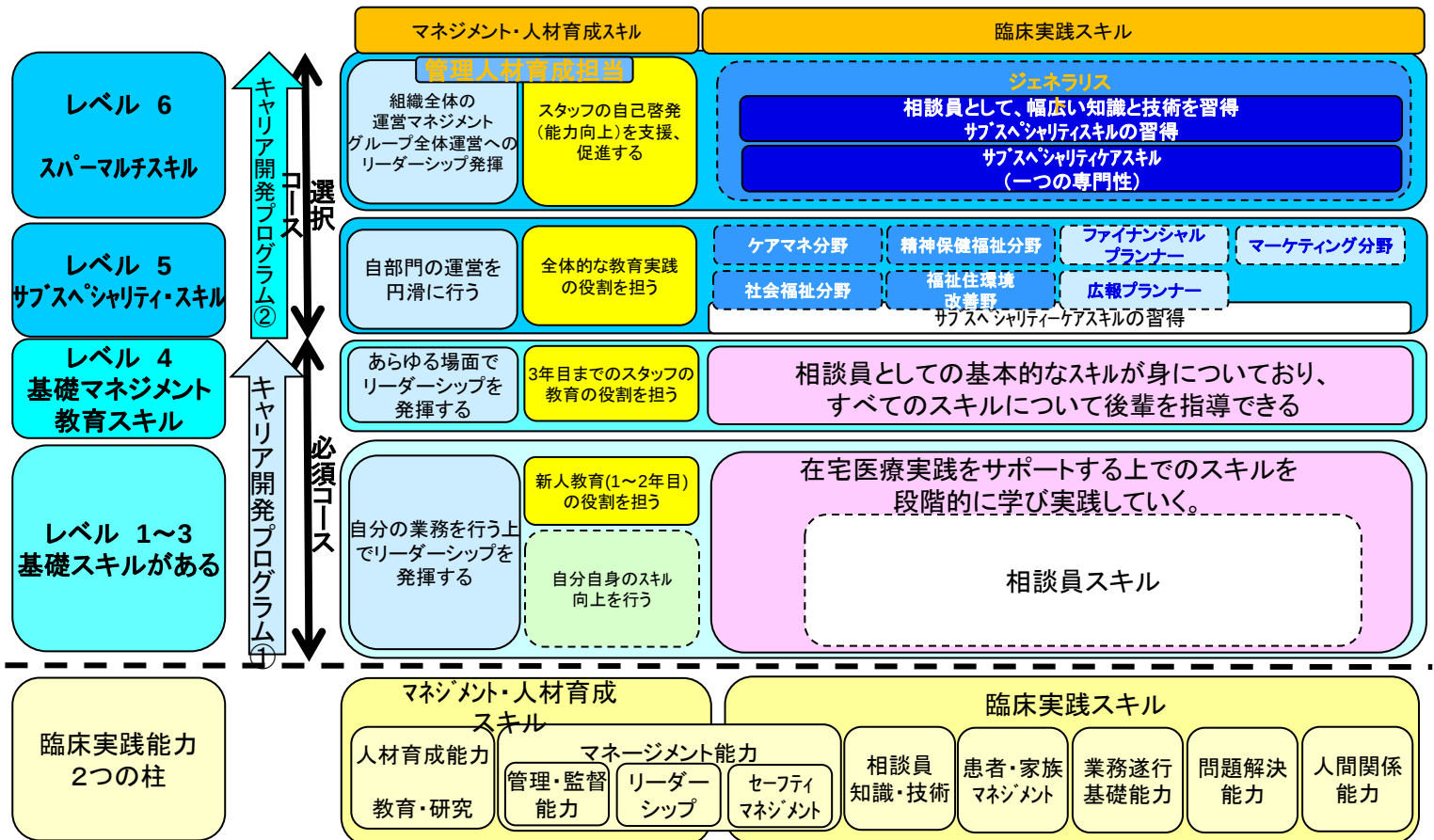
教育制度（キャリア・ステップ）



在宅療養のスペシャリストを育成するキャリア・ステップ

当グループ独自のキャリア・ラダーにより在宅療養のスペシャリストを新人から育成することを目指しています。

【キャリア・ラダー】



【レベル別達成すべき人材像】

レベル	勤続年数	スキル	人材像
6	11年目～	スーパーマルチスキル	- すべてのサブスペシャリティークラスの基本的概要を理解し、患者・利用者全体をマネジメントできる - 組織全体の運営マネジメントができる - 一つの専門性(サブスペシャリティースキル)習得している
5	6年～10年目	サブスペシャリティースキル	在宅療養の相談を受ける上で特に必要なサブスペシャリティークラス(詳細は別紙参照)の基本概念を全て理解し、グループ全体に教育、啓蒙が行える
4	4年～5年目	基礎マネジメント・教育スキル	- 家族、他職種などとの連携マネジメントを過不足なく提供することができる - レベル3までに習得した基礎スキルを教育することができる
1～3	3年目	基礎スキル	- 在宅療養を行う患者・利用者の特性を理解し、その病態を観察することができる - 在宅療養を事務的サポートする上で必要な医療・ケア・福祉行政の知識と技術を過不足なく提供することができる
	2年目		- 職場、患者さんの家族環境を考慮し、インシデント、苦情処理防止策を実施できる - 新人の基本的な指導が行える - 業務実践において現場の模範(モデル)となることできる
	1年目		- 職場、患者さんの家族環境を考慮し、基本スキルを応用(スキルの足し算、引き算)し、悪化防止を予測して業務を行うことができる - 外部(業者)との対応において、自分で対応可能なもの、対応不可なもの、判断をしないものについては、タイムリーに先輩、看護師、医師に相談することができる - 自分の役割を理解して業務遂行ができる - 自分が実施する業務について、基本的に忠実に一人で行うことができる - 自分の経験、知識では実施できない業務については判断でき、支援を求めることができる

FAQ（よくある質問）



採用・面接について

Q. どのようなスタッフが求められていますか？

たまふれあいグループの理念やビジョンを理解・共感して、その実現のために自ら考え、自ら行動することで、私たちとともに新しい地域ヘルスケアを創り上げていくことができる人材を求めています。具体的には、「チームワークを大切に下さる方」「向上心のある方」「課題を解決したいと思って仕事をされる方」を望みます。

Q. 医療相談員に求められることは何ですか？

当グループの行動目標には「おせっかい焼きになろう」というものがあります。患者様やご利用者様にとって役に立つことは積極的に私たちから提供していくことが大事です。また、病院などの相談業務とは違い、在宅のフィールドは患者様のご自宅や入居されている施設です。フットワークよく地域を走り回って積極的に”おせっかいを焼ける”方を望みます。

入職時について

Q. 就職には転居が必要なのですが、何か援助制度はありますか？

赴任支援制度があります。引っ越し費用ならびに礼金、仲介手数料については当グループにて貸与いたします。（上限20万円）入職後継続して6か月以上就労した時点で返還義務が免除されます。（詳細規定については別にご相談、ご確認ください）

Q. 就職前に勉強しておいた方が良いことはありますか？

在宅医療の基本的な制度はもちろん、どのような方々が在宅で療養をされていて、どのようなことを期待されているのかを学んでいただくとよいと思います。

働き方について

Q. 残業や休日出勤はありますか？

残業は緊急対応時や繁忙期には発生する場合がありますが、部署内で協力し合い、業務を分担する等、可能な限り工夫をしています。休日出勤はありません。

Q. 勤務シフトはどのようになっていますか？

日・祝はお休みで、月～土の間は希望を頂いて、部署内で相談の上決めています。また半休（9:00～13:00、13:00～18:00）も取ることができます。

職場環境について

Q. スタッフの平均年齢と男女比を教えてください。

平均年齢は30代前半です。男女比は半々です。

Q. スタッフ間の交流の場はありますか？

ありますが、もちろん自由参加です。



教育・研修について

Q. 小さなクリニックで新人教育は大丈夫ですか？

病棟を持っていませんので名称はクリニックになりますが、複数の医師や看護師、医療相談員など140人以上が勤務している大規模在宅医療クリニックですので、多くの学びの場が存在します。また、新人教育には以前より注力しており独自のキャリアラダーステップを導入し実践しています。新卒で活躍しているスタッフもあり、キャリアラダーシステムを使用して、On the Job Training (OJT)を行っています。

Q. 資格支援制度やスキルアップのための教育制度はありますか？

学会参加規定として、参加費・交通費・宿泊費を年間最大5万円(うち年2回まで)補助されます。また、他研修費用も内容によっては補助されます。資格支援制度もあります。当グループとしては積極的な参加を奨励しています。(詳細規定については別にご相談、ご確認ください)

Q. 一人で業務をこなせるようになるのはどれくらいの時間がかかりますか？

業務の種類によりますが、概ね半年～1年です。なお、在宅療養のマネジメントに必要なスキルを5年程度で身に付けられるようにキャリアラダーは設計されています。

ワークライフバランスについて

Q. 有給休暇は取得できますか？

もちろんできます。連休を取り、リフレッシュしていただくことも可能です。グループとして積極的な取得を進めています。

Q. 長期の休暇はありますか？

夏季休暇は5日間、7月1日から9月30日までの間に他のスタッフと重ならないように調整して各自取得していただいています。年末年始休暇は(公休日、日祝日を含めて)12月29日から1月3日までです。

Q. 結婚や出産をしても、職場復帰できますか？

たまふれあいグループでは、産休・育休・介護休暇の取得実績が多数あり、ほとんどの方が復帰後に活躍されています。またリハビリスタッフやソーシャルワーカーでは男性の育児休暇にも実績があり、グループとして多様なライフステージの方に働いてもらえる環境づくりを行っています。

Q. 昇給はありますか？

年1回、4月に行います。人事評価制度が導入されていますので、適切に評価の上反映されます。

募集要項



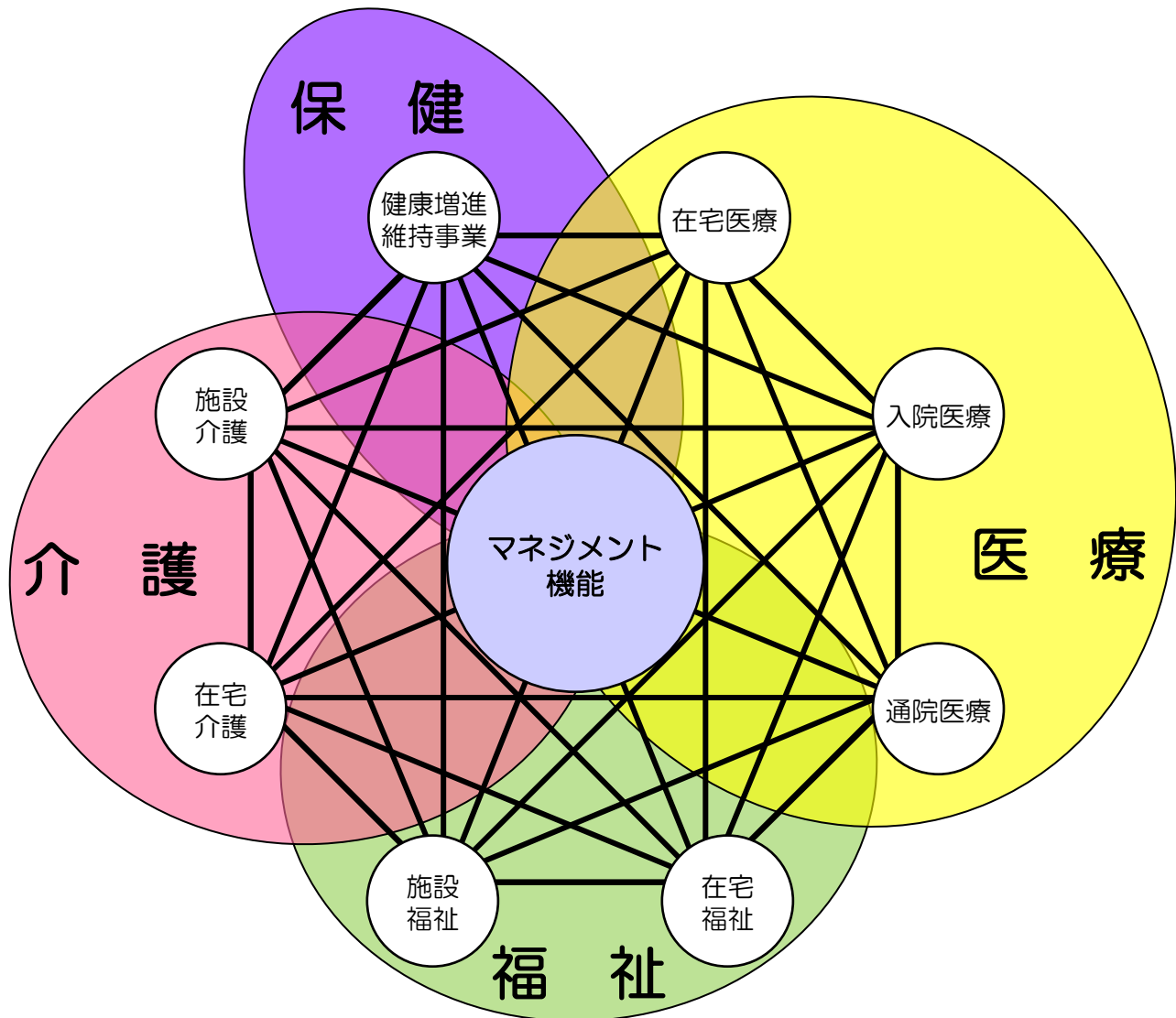
勤務先	たまふれあいクリニック
雇用形態	常勤
業務内容	・地域医療に関する相談業務 ・医療機関や介護事業所との地域連携 ・コーディネーター的役割 ・情報誌やPRツールの作成などを通じた地域ネットワークづくり ・提携介護施設との連携業務 ・地域のケアを良くする課題を解決するための様々な活動など
必要な資格	1. 社会福祉士資格、または精神保健福祉士資格（取得見込み） 2. 普通自動車運転免許（AT限定可）
対象となる方	1. チームワークを大切にしておられる方 2. 向上心のある方 3. 課題を解決したいと思って仕事をされる方 4. おせっかい焼きな方 5. 現場に出ることが好きな方
勤務日・時間	5日/週 9:00～18:00（休憩60分）
残業時間	有（平均約10～15時間/月程度）
休日	日・祝＋その他1日（シフト制）
年間休日	126日以上（有給休暇・夏季休暇・年末年始休暇 ほか）
月給	初任給 237,000～250,000円（時間外込） <年収例> 入社4年目 年収378万円 【内訳】月給＋賞与＋諸手当
通勤手当	実費支給（上限5万円/月） マイカー通勤可（駐車場代は当グループ負担）
賞与	年2回（前年度実績 基本給2.0ヶ月分）
定期昇給	有（年1回）
社会保険	厚生年金、健康保険、雇用保険、労災保険 完備
赴任手当	遠方からの入職者に対して、上限20万円まで負担（詳細規定あり）
学会・研修費補助	参加費・交通費・宿泊費を年間5万円まで補助
資格取得	支援制度有



たまふれあいグループが目指すもの ～地域クラスター構想～



たまふれあいグループは、医療・介護・保健・福祉の地域統合型ネットワークとしての「たまヘルスケアクラスター」の創造を通じて、地域ヘルスケアのイノベーションを目指しています



概念

- 患者や利用者の満足・サービスの質・経済性といった本質追求による求心力によって、医療・介護・保健・福祉が統合的に結ばれるネットワーク型の連合体であること
- 患者・利用者がシームレスで最適（安く、迅速で、質の高い）な医療・福祉・保健が受けられる、市場に対して適正な組織構成であること
- 不採算部門を切り捨てることなくクラスター全体が、医療・介護技術の進歩にあわせた設備や人的投資を行い続けるために必要な財源が確保できること
- これらを論理的、組織的にコントロールすることで全体最適化を実現するマネジメント機能を有すること

アクセス&アドレス



事業所	住所	電話番号
たまふれあいクリニック		TEL:044-931-3380 FAX:044-931-3381
たまふれあい 訪問看護ステーション	〒214-0014 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F	TEL:044-922-5665 FAX:044-922-5667
たまふれあい 居宅介護支援事業所		TEL:044-934-8801 FAX:044-934-8802
障害者就労支援事業所 「たまふれ!」	事業所 〒214-0014 川崎市多摩区登戸2519-1 ヨシザワ10ビル4F	TEL:044-930-1177 FAX:044-930-1178
	作業所 〒214-0032 川崎市多摩区枳形2-24-6 エスペランサ枳形 1階	
医療・看取り対応型 たまふれあいグループホーム 枳形	〒214-0032 川崎市多摩区枳形6-19-8	TEL:044-911-1114 FAX:044-911-1115
看護小規模多機能型居宅介護 ナース&ケアハウス ふれあい		
デイサービスふれあい	〒214-0038 川崎市多摩区生田3-18-2 アボードベア1F	TEL:044-328-9150 FAX:044-328-9151
医療・看取り対応型 たまふれあいグループホーム 登戸新町	〒214-0013 川崎市多摩区登戸新町186	TEL:044-930-6711 FAX:044-930-6712
一般社団法人 たまふれあいの森	〒214-0014 川崎市多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2F	TEL:044-931-3380 FAX:044-931-3381



たまふれあいグループ

Tama Fureai Group

